

横浜市中小企業振興基本条例に基づく 平成22年度の取り組み状況について

1 物品及び委託契約における市内中小企業者の受注機会の増大について

(1) 平成22年度の受注機会増大に向けた取り組み

物品の調達及び委託業務の発注にあたっては、市内経済の活性化の観点から、従来から市内事業者への優先発注を基本方針とし、発注を進めてきました。

平成22年度における議会局の契約実績といたしましては、物品契約は228件、金額13,448千円、委託契約は53件、金額30,085千円となっています。

このうち、市内中小企業契約実績といたしましては、物品契約が、件数ベースで158件、構成比率69.3%、金額ベースで7,342千円、構成比率54.6%、委託契約が、件数ベースで38件、構成比率71.7%、金額ベースで14,011千円、構成比率46.6%となっています。

(2) 今後の受注機会増大に向けた取り組みの方向性

発注事務において、対象事業者の所在区分及び企業規模を確認する手を徹底し、今後とも市内中小企業者への優先発注に努めます。

市内中小企業者への発注状況（議会局契約分）

	区分	契約実績（単独随意契約及び大規模契約を除く）							単独随意契約及び大規模契約の合計		
		市内中小企業契約実績						件数	金額	件数	金額
		件数	構成比率	前年度からの増減	金額	構成比率	前年度からの増減				
平成22年度	工事	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0	0	0
	物品	158	69.3	10.3	7,342	54.6	▲4.3	228	13,448	6	15,265
	委託	38	71.7	▲6.3	14,011	46.6	13.8	53	30,085	16	34,379
	合計	196	70.0	7.4	21,353	49.1	6.1	281	43,533	22	49,644
平成21年度	工事	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0	0	0
	物品	105	59.0	—	8,516	58.9	—	178	14,448	3	13,990
	委託	32	78.0	—	7,450	32.8	—	41	22,689	17	35,428
	合計	137	62.6	—	15,966	43.0	—	219	37,137	20	49,418

※ 「構成比率」はそれぞれの数値（件数又は金額）が契約実績（単独随意契約及び大規模契約を除く）に占める割合

※ 「契約実績（単独随意契約及び大規模契約を除く）」は、中小企業庁が行っている「官公需契約実績額等の調査」と同様に、中小企業者の参入の余地がない単独随意契約及び大規模契約（政府調達協定（WTO）対象契約）を除いたもの。

【参考資料】

市内中小企業者への発注状況（財政局契約部契約分）

区分	契約実績（単独随意契約及び大規模契約を除く）							単独随意契約及び大規模契約の合計			
	市内中小企業契約実績						件数	金額	件数	金額	
	件数	構成比率	前年度からの増減	金額	構成比率	前年度からの増減					
平成22年度	工事	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0	0	0
	物品	7	70.0	▲30.0	17,759	78.7	▲21.3	10	22,575	1	1,024
	委託	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0	0	2	2,467
	合計	7	70.0	▲30.0	17,759	78.7	▲21.3	10	22,575	3	3,491
平成21年度	工事	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0	0	0
	物品	9	100.0	—	20,770	100.0	—	9	20,770	1	630
	委託	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0	2	3,007
	合計	9	100.0	—	20,770	100.0	—	9	20,770	3	3,637

※ 「構成比率」はそれぞれの数値（件数又は金額）が契約実績（単独随意契約及び大規模契約を除く）に占める割合

※ 「契約実績（単独随意契約及び大規模契約を除く）」は、中小企業庁が行っている「官公需契約実績額等の調査」と同様に、中小企業者の参入の余地がない単独随意契約及び大規模契約（政府調達協定（WTO）対象契約）を除いたもの。